選択評価事項Ｃ　教育の国際化の状況

Ｃ－１　大学の目的に照らして、教育の国際化に向けた活動が適切に行われ、成果を上げていること。

趣旨

大学の第一の使命・機能は、学生に対して教育活動を実施し、豊かな人間性を養うとともに、社会にとって有為な人材を育成することにあります。近年では、社会全体のグローバル化が進展する中で、大学教育においてもグローバル化に向けた対応が求められており、多くの大学が教育の国際化に向けた様々な活動を展開しています。

教育の国際化に向けた活動については、大学機関別認証評価においても評価の対象として含まれていますが、特別の基準を設けていないことから、大学機関別認証評価のみでは各大学における教育の国際化の状況や特色が必ずしも明確になっているとはいえません。選択評価事項Ｃは、教育の国際化に向けた活動に焦点を絞り評価を行うことにより、国際的な教育活動の質の一層の向上を図るとともに、教育の国際化の局面において個性・特色を発揮している大学を支援することを目的に設けられたものです。

教育の国際化に向けた活動としては、国際的な教育プログラム及び教育環境の構築（外国語による授業・学位論文作成、短期留学・超短期留学プログラムやダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムの実施、国際通用性の高い教育課程の編成・実施、国際交流センター・海外拠点等の設置、外国人教員・海外での教育研究活動実績等を有する日本人教員の配置、外国語ができる職員の配置等）、それに基づく外国人学生の受入（正規留学生・短期留学生・超短期留学生／実績、学修・生活・就職支援、促進のための取組）、国内学生の海外派遣（短期海外派遣学生・超短期海外派遣学生／実績、学修・生活支援、促進のための取組）等が考えられます。

この選択評価事項では、それぞれの大学が掲げる教育の国際化に関わる目的の達成状況について、目的・計画の策定と公表、実際の活動内容や方法の適切性、活動の成果、改善のためのシステム等の観点から、水準判定を加味しつつ、評価を行います。

基本的な観点

Ｃ－１－①　大学の教育の国際化の目的に照らして、目的を達成するためにふさわしい計画や具体的方針が定められているか。また、これらの目的と計画が広く公表されているか。

Ｃ－１－②　計画に基づいた活動が適切に実施されているか。

Ｃ－１－③　活動の実績及び学生の満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。

Ｃ－１－④　改善のための取組が行われているか。

※　以下、『自己評価実施要項』より選択評価事項Ｃ「教育の国際化の状況」に係る記述を抜粋。

分析する際の留意点及び根拠資料・データ等例

選択評価事項Ｃ　教育の国際化の状況

【当該選択評価事項全般に係る留意点】
○　教育の国際化に向けた活動としては、様々な活動が考えられますが、本評価においては、それらを、「国際的な教育環境の構築」、「外国人学生の受入」、「国内学生の海外派遣」の視点から評価します。
○　Ｃ－１－①～④の各観点は、ＰＤＣＡに対応するよう設定されています。自己評価書の作成に当たっては、上記の各項目の流れが分かるように記載してください。

Ｃ－１　大学の目的に照らして、教育の国際化に向けた活動が適切に行われ、成果を上げていること。

Ｃ－１－①　大学の教育の国際化の目的に照らして、目的を達成するためにふさわしい計画や具体的方針が定められているか。また、これらの目的と計画が広く公表されているか。

【留意点】
○　教育の国際化に関する基本方針等を明らかにした上で、計画が、教育の国際化に関する目的を達成できるものであるかについて分析。
○　大学内や学外の関係者等に対して、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により、広く公表しているかについて分析。

【根拠となる資料・データ等例】
・教育の国際化に関する目的や基本方針等を示す資料
・教育の国際化に関する目的を達成するための計画や具体的方針が定められている資料等の該当箇所
・教育の国際化に関する目的及びその目的を達成するための計画や具体的方針が公開されている刊行物、ウェブサイト等の該当箇所

Ｃ－１－②　計画に基づいた活動が適切に実施されているか。

【留意点】
○　国際的な教育環境の構築については、国際化に対応可能な組織体制の整備、教育内容・方法等の国際化、教育情報の国際的な発信の状況について分析。
　なお、この事項については、各大学の状況に応じて「外国人学生の受入」、「国内学生の海外派遣」の項目で分析することも可能。
・国際化に対応可能な組織体制の整備については、例えば、国際交流センター・海外拠点等の設置、外国人教員・海外での教育研究活動実績等を有する日本人教員の配置、外国語ができる職員の配置、教育の国際化を意識したＦＤ・ＳＤの実施等の状況から分析。
・教育内容・方法の国際化については、例えば、国内学生を対象とした外国語による授業・学位論文作成、国際通用性の高い教育課程の編成・実施（例えば、セメスター／クォーター制、秋入学、コース・ナンバリング、ＧＰＡの採用と成績分布チェックによる厳格な成績評価）、外国人学生との学生交流イベントの開催、海外の大学との交流協定の締結・国際的なネットワークへの参加等の状況から分析。
・教育情報の国際的な発信については、「国際的な情報発信の観点から想定される情報の例」（「中長期的な大学教育の在り方に関する第四次報告」平成22年６月

29日、中央教育審議会大学分科会）を踏まえ、国際的な情報発信の状況から分析。

○　外国人学生の受入については、外国人学生の受入実績、教育課程編成・実施上の工夫、外国人学生に対する各種支援、外国人学生の受入促進のための取組の実施状況から分析。

・外国人学生の受入実績については、正規留学生、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる留学生、短期留学生（単位互換制度等による外国人学生）、超短期留学生（サマー・プログラム等による外国人学生）について、教育プログラムごとに分析。

・教育課程編成・実施上の工夫については、例えば、外国語による授業・学位論文作成、日本語・日本文化教育、単位互換等の方法、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラム、短期・超短期プログラム等の内容・実施状況から分析。なお、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムにおいては、「我が国の大学と外国の大学間におけるダブル・ディグリー等、組織的・継続的な教育連携関係の構築に関するガイドライン」（平成22年５月10日、中央教育審議会大学分科会大学教育の検討に関する作業部会大学グローバル化検討ワーキンググループ）の留意点の関連事項についても分析。

・外国人学生の支援については、例えば、ウェブサイト・学内文書の多言語化、チューターの配置等による就学支援、外国人学生宿舎の整備及び斡旋、カウンセリング、経済的支援、就職支援、外国人学生ネットワークの構築、外国人学生と地域との交流活動等の実施状況から分析。

・外国人学生の受入促進のための取組については、例えば、外国人学生のための入試制度、入学手続きのワンストップ化、国際的広報活動、留学説明会の実施状況から分析。

○　国内学生の海外派遣については、国内学生の海外派遣実績、教育課程編成・実施上の工夫、派遣学生に対する各種支援、国内学生の海外派遣促進のための取組等の実施状況から分析。

・国内学生の海外派遣実績については、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる海外派遣学生、短期海外派遣学生（単位互換制度等による海外派遣学生）、超短期海外派遣学生（サマー・プログラム等による海外派遣学生）を対象とする教育プログラムごとに分析。

・教育課程編成・実施上の工夫については、例えば、教育課程における海外留学の位置づけの明確化、留学の事前教育としての外国語・異文化教育、海外で修得した単位等の認定基準、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラム、短期・超短期プログラム等の実施状況から分析。なお、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムにおいては、「我が国の大学と外国の大学間におけるダブル・ディグリー等、組織的・継続的な教育連携関係の構築に関するガイドライン」（平成22年５月10日、中央教育審議会大学分科会大学教育の検討に関する作業部会大学グローバル化検討ワーキンググループ）の留意点の関連事項についても分析。

・海外派遣学生の支援・派遣促進のための取組については、例えば、留学関連情報の提供（留学説明会・個別相談等）、海外派遣学生の選抜方法、海外派遣中の学生に対するカウンセリング、経済的支援等の実施状況から分析。

【根拠となる資料・データ等例】

・国際的な教育環境の構築に関する各活動の実施状況が確認できる資料（国際交流センター・海外拠点等の役割及び教職員の配置、外国人教員・海外での教育研究活動実績等を有する日本人教員の配置、外国語ができる職員の配置、教育の国際化を意識したＦＤ・ＳＤの実施、国内学生を対象とした外国語による授業科目の開設状況、国際通用性の高い教育課程の編成・実施の内容・実施状況、学生交流イベントの開催回数・参加者数、海外の大学との交流協定の締結・国際的なネットワークへの参加状況、国際的な情報発信のための刊行物・ウェブサイトの該当箇所等、実際の活動内容・方法を記した資料等）

・外国人学生の受入の実施状況が確認できる資料（「外国人学生受入実績票」別紙様式①～③、⑤〔提出必須〕、外国語による授業科目の開設状況、日本語・日本文化教育の開設状況、単位互換等の方法、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プ

ログラム、短期・超短期プログラムの内容・実施状況、多言語でのウェブサイト・学内文書の該当箇所、チューターの配置等による就学支援の内容、外国人学生宿舎の戸数・入居者数、カウンセリングの実施状況、外国人学生に対する経済的支援の実績、外国人学生就職支援の内容、外国人学生ネットワークの活動内容、外国人学生と地域との交流活動内容、外国人学生のための入試制度の内容、入学手続きのワンストップ化の内容、外国人学生の受入促進のための刊行物・ウェブサイトの該当箇所、留学説明会の開催回数・参加者数等、実際の活動内容・方法を記した資料等）

・国内学生の海外派遣の実施状況が確認できる資料（「国内学生海外派遣実績票」別紙様式④、⑤〔提出必須〕、留学のための外国語・異文化教育の内容、海外で修得した単位等の認定基準の内容、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラム、短期・超短期プログラムの内容・実施状況、留学説明会の開催回数・参加者数、国内学生の海外派遣促進のための刊行物・ウェブサイトの該当箇所、カウンセリングの実施状況、海外派遣学生に対する経済的支援実績等、実際の活動内容・方法を記した資料等）

Ｃ－１－③　活動の実績及び学生の満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。

【留意点】

○　外国人学生の受入実績、国内学生の海外派遣実績、卒業（修了）／単位修得の状況、卒業（修了）後の進路及び学生の満足度等から判断して、目的や計画をどの程度達成したかについて分析。

【根拠となる資料・データ等例】

・観点Ｃ－１－②における根拠資料・データ等のうち、成果が確認できるものを抽出した資料
・学位取得を目的とする教育プログラムについては卒業（修了）の状況、単位修得等を目的とする教育プログラムについては単位修得・受講状況等が確認できる資料（過去３年分程度）〔提出必須〕
・卒業（修了）後の進路の状況が確認できる資料（過去３年分程度）
・学生へのアンケート結果等、満足度・達成度等が確認できる資料

Ｃ－１－④　改善のための取組が行われているか。

【留意点】

○　教育の国際化に向けた活動の状況を把握する取組を実施し、その結果を教育の質の向上や改善に結び付ける継続的な取組（継続的な方策の立案から実施までのプロセス、ＰＤＣＡサイクル等）が確認できる資料・データを用いて取組状況を分析。
○　把握した問題点等を教育の国際化に向けた活動の質の向上、改善に結び付けた事例が確認できる資料・データを用いて分析。

【根拠となる資料・データ等例】

・教育の国際化に向けた活動の状況を検証する組織、検証の方法が確認できる資料
・外部者（当該大学の教職員以外の者）による検証を行っている場合は、その実施状況（実施組織、実施方法）が確認できる資料
・自己点検・評価書、外部評価書等の該当箇所
・大学機関別認証評価の自己評価書・評価報告書（直近のもの）〔提出必須〕
※提出部数は別途指示による。
・教育の国際化に向けた活動の状況を検証し、問題点等の改善に結び付けた具体的事例等

外国人学生受入実績票・国内学生海外派遣実績票について

Ⅰ　趣旨

(1)　選択評価事項Ｃ「教育の国際化の状況」では、教育の国際化に向けた活動に関する全般的状況の評価を希望する大学を対象として、以下の内容について評価を行います。
Ｃ－１　大学の目的に照らして、教育の国際化に向けた活動が適切に行われ、成果を上げていること。

(2)　「外国人学生受入実績票」及び「国内学生海外派遣実績票」は、自己評価において、上記(1)のＣ－１に係る基本的な観点Ｃ－１－②～③を分析する際の根拠となる資料・データ等の１つとして用いるためのものです。また、機構の評価においても、対象大学の当該観点に係る自己評価結果を分析する際に用います。

Ⅱ　記述要領

１　「外国人学生受入実績票」別紙様式①【留学生】(41頁）について

(1)　別紙様式①は、留学生（外国人学生のうち、出入国管理及び難民認定法別表第１に定める「留学」の在留資格を有する者。）について記入してください。

(2)　「国又は地域」の欄には、在籍している留学生の出身国又は地域を記入してください。
※　国又は地域については「国・地域一覧」(39頁）を参照してください。

(3)　「正規留学生」、「非正規留学生」の欄には、評価実施の前年度の５月１日現在に在籍している学生数を「学部」、「大学院」、「その他」ごとに記入してください。
※　大学の附属施設等（専攻科、別科を含む）に受け入れた留学生については「その他」の欄に記入してください。

２　「外国人学生受入実績票」別紙様式②【正規留学生】(42頁）について

(1)　別紙様式②は、正規留学生（学位取得を目的とし入学した留学生。学部、大学院の正規課程に在籍している留学生。ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる留学生も含む。）について記入してください。

(2)　「学部」、「大学院」の欄には、学部・研究科（課程）等単位で、全ての学部・研究科（課程）について記入してください。

(3)　「在籍者数」の欄には、５月１日現在に正規課程に在籍している学生数を評価実施の前年度まで過去３年分を記入してください。

(4)　「外国人学生数」の欄には、５月１日現在に在籍している留学生数を評価実施の前年度まで過去３年分を記入してください。

(5)　「外国人学生比率」の欄には数式が入力されているので、各年度の外国人学生比率（外国人学生数／在籍者数）となっているか確認してください。

３　「外国人学生受入実績票」別紙様式③【ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる留学生】【短期留学生・超短期留学生】(43頁）について

(1)　別紙様式③は、海外の大学から受け入れた、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる正規留学生（ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムにより、学位取得を目的とし入学した留学生。）と短期留学生（必ずしも学位取得を目的とせず、大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、お

おむね１学年以内の教育を受けて単位を修得又は研修指導を受ける外国人学生のうち、受入期間が３か月以上の者。）及び超短期留学生（必ずしも学位取得を目的とせず、大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、おおむね１学年以内の教育を受けて単位を修得又は研修指導を受ける外国人学生のうち、受入期間が３か月未満の者。）について記入してください。

(2)　「教育プログラム」の欄には、学士課程・大学院課程に区分した上で、教育プログラム単位で記入してください。また、（　）には、全学単位での教育プログラムは「全学」を、学部・研究科（課程）等単位での教育プログラムは学部・研究科（課程）等の名称を記入してください。

(3)　「交流大学等」の欄には、受入元の海外の大学等を記入してください。

(4)　「協定」の欄には、大学間交流協定等に基づく受入の場合は「○」を、それ以外の場合は「×」を記入してください。

(5)　「国又は地域」の欄には、海外の大学の国又は地域を記入してください。
※　国又は地域については「国・地域一覧」(39頁）を参照してください。

(6)　「受入区分」の欄には、ダブル・ディグリー・プログラムによる受入の場合は「ＤＤ」を、ジョイント・ディグリー・プログラムによる受入の場合は「ＪＤ」を、短期プログラムによる受入（受入期間が３か月以上のもの）の場合は「短期」を、超短期プログラムによる受入（受入期間が３か月未満のもの）の場合は「超短期」を記入してください。

(7)　「受入期間」の欄には、受入期間を年・学期・月・週・日単位で記入してください。

(8)　「外国人学生数」の欄には、年間受入者数（４月１日から３月31日までに在籍した学生の総数）を学部・研究科（課程）等単位ごとに評価実施の前年度まで過去３年分を記入してください。

(9)　「うち単位」の欄には、短期留学生・超短期留学生のうち、単位を授与した外国人学生数を内数で記入してください。

４　「国内学生海外派遣実績票」別紙様式④【ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる海外派遣学生】【短期海外派遣学生・超短期海外派遣学生】（44頁）について

(1)　別紙様式④は、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる海外派遣学生（日本国内の大学に在籍し、ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムにより、学位取得を目的とし海外の大学等に入学した学生。）と短期海外派遣学生（日本国内の大学に在籍し、必ずしも学位取得を目的とせず、海外の大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、おおむね１学年以内の教育を受けて単位を修得又は研修指導を受ける学生のうち、派遣期間が３か月以上の者。）及び超短期海外派遣学生（日本国内の大学に在籍し、必ずしも学位取得を目的とせず、海外の大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、おおむね１学年以内の教育を受けて単位を修得又は研修指導を受ける学生のうち、派遣期間が３か月未満の者。）について記入してください。

(2)　「教育プログラム」の欄には、学士課程・大学院課程に区分した上で、教育プログラム単位で記入してください。また、（　）には、全学単位での教育プログラムは「全学」を、学部・研究科（課程）等単位での教育プログラムは学部・研究科（課程）等の名称を記入してください。

(3)　「交流大学等」の欄には、派遣先の海外の大学等を記入してください。

(4)　「協定」の欄には、大学間交流協定等に基づく派遣の場合は「○」を、それ以外の場合は「×」を記入してください。

(5)　「国又は地域」の欄には、海外の大学の国又は地域を記入してください。
※　国又は地域については「国・地域一覧」(39頁）を参照してください。

(6)　「派遣区分」の欄には、ダブル・ディグリー・プログラムによる派遣の場合は「ＤＤ」を、ジョイント・ディグリー・プログラムによる派遣の場合は「ＪＤ」を、短期プログラムによる派遣（派遣期間が３か月以上のもの）の場合は「短期」を、超短期プログラムによる派遣（派遣期間が３か月未満のもの）の場合は「超短期」を記入してください。

(7)　「派遣期間」の欄には、派遣期間を年・学期・月・週・日単位で記入してください。

(8)　「派遣学生数」の欄には、年間派遣者数（４月１日から３月31日までに派遣した学生の総数）を学部・研究科（課程）等単位ごとに評価実施の前年度まで過去３年分を記入してください。

(9)　「うち単位」の欄には、短期海外派遣学生・超短期海外派遣学生のうち、単位を授与した派遣学生数を内数で記入してください。

５　「外国人学生受入・国内学生海外派遣実績票」別紙様式⑤【全体】（45頁）について

(1)　「在籍者数」の欄には数式が入力されているので、別紙様式②の在籍者数が転記されているか確認してください。

(2)　「外国人学生数」、「派遣学生数」の欄には数式が入力されているので、「正規留学生」、「短期留学生・超短期留学生」の欄に別紙様式②、別紙様式③の学生数の合計が、「派遣学生数」の欄に別紙様式④の学生数の合計が転記されているか、それぞれ確認してください。

(3)　「外国人学生比率」、「派遣学生比率」の欄には数式が入力されているので、「正規留学生」、「短期留学生・超短期留学生」の欄に別紙様式②、別紙様式③の外国人学生比率が、「派遣学生比率」の欄に別紙様式④の派遣学生比率が転記されているか、それぞれ確認してください。

(4)　「３年平均」の「在籍者数」、「外国人学生」、「外国人学生比率」、「派遣学生数」、「派遣学生比率」の欄には数式が入力されているので、３年平均の数値となっているかそれぞれ確認してください。

（参考）

<table>
<tr><td rowspan="2">受入</td><td rowspan="2">留学生</td><td>正規留学生</td><td rowspan="2">別　紙
様式①</td><td>別　紙
様式②</td><td>別　紙
様式⑤</td></tr>
<tr><td>非正規留学生</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

海外の大学等との交流

<table>
<tr><td rowspan="3">受入</td><td rowspan="3">外国人学生</td><td rowspan="2">ﾀﾞﾌﾞﾙ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ/ｼﾞｮｲﾝﾄ
･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
以外</td><td>3か月
以上</td><td>短期留学生</td><td rowspan="3">別　紙
様式③</td><td rowspan="5">別　紙
様式⑤</td></tr>
<tr><td>3か月
未満</td><td>超短期留学生</td></tr>
<tr><td colspan="2">ﾀﾞﾌﾞﾙ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ/ｼﾞｮｲﾝﾄ
･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
による留学生</td></tr>
<tr><td rowspan="3">派遣</td><td rowspan="3">海外派遣学生</td><td rowspan="2">ﾀﾞﾌﾞﾙ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ/ｼﾞｮｲﾝﾄ
･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
以外</td><td>3か月
以上</td><td>短期海外派遣学生</td><td rowspan="3">別　紙
様式④</td></tr>
<tr><td>3か月
未満</td><td>超短期海外派遣学生</td></tr>
<tr><td colspan="2">ﾀﾞﾌﾞﾙ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ/ｼﾞｮｲﾝﾄ
･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
による海外派遣学生</td></tr>
</table>

注）本実績票においては、下記のとおりとします。

＜外国人学生＞

出入国管理及び難民認定法別表第１に定める在留資格に関わらず、日本の大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等の目的を持って入国した外国籍の学生。

＜留学生＞

外国人学生のうち、出入国管理及び難民認定法別表第１に定める「留学」の在留資格を有する者。

＜正規留学生＞

学位取得を目的とし入学した留学生。学部、大学院の正規課程に在籍している留学生。

＜非正規留学生＞

正規留学生以外の留学生。

＜短期留学生＞

必ずしも学位取得を目的とせず、大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、おおむね１学年以内の教育を受けて単位を修得又は研修指導を受ける外国人学生のうち、受入期間が３か月以上の者。

＜超短期留学生＞

必ずしも学位取得を目的とせず、大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、おおむね１学年以内の教育を受けて単位を修得又は研修指導を受ける外国人学生のうち、受入期間が３か月未満の者。

＜短期海外派遣学生＞

日本国内の大学に在籍し、必ずしも学位取得を目的とせず、海外の大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、おおむね１学年以内の教育を受けて単位を修得又は研修指導を受ける学生のうち、派遣期間が３か月以上の者。

＜超短期海外派遣学生＞

日本国内の大学に在籍し、必ずしも学位取得を目的とせず、海外の大学等における学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、おおむね１学年以内の教育を受けて単位を修得又は研修指導を受ける学生のうち、派遣期間が３か月未満の者。

＜ダブル・ディグリー・プログラム＞

我が国と外国の大学が、教育課程の実施や単位互換等について協議し、双方の大学がそれぞれ学位を授与するプログラム。

＜ジョイント・ディグリー・プログラム＞

我が国と外国の大学が、教育課程を共同で編成・実施し、単位互換を活用することにより、双方の大学がそれぞれ学位を授与するプログラム。

＜大学交流協定等＞

両大学長、学部長等の押印又はサインを交わした正式文書が存在するもの、又は、正式文書としては両大学間で取り交わしていなくても、学生交流に関わる事務文書が存在し、交流実績を有する取決め又は覚書等が存在するもの。

（国・地域一覧）

（アジア）
パキスタン
インド
ネパール
バングラデシュ
スリランカ
ミャンマー
タイ
マレーシア
シンガポール
インドネシア
フィリピン
香港
韓国
モンゴル
ベトナム
中国
カンボジア
ブータン
ラオス
ブルネイ
台湾
モルディブ
東ティモール
その他（アジア地域）

（中近東）
イラン
トルコ
シリア
レバノン
イスラエル
ヨルダン
イラク
クウェート
サウジアラビア
アフガニスタン
パレスチナ
イエメン
アラブ首長国連邦
バーレーン
オマーン
カタール
その他（中近東地域）

（アフリカ）
エジプト
スーダン
リビア
チュニジア
アルジェリア
マダガスカル
ケニア
タンザニア
コンゴ民主共和国
ナイジェリア
ガーナ
リベリア
ガボン
コンゴ共和国
カメルーン
ザンビア
コートジボワール
モロッコ
セネガル
エチオピア
ギニア
ウガンダ
ジンバブエ
南アフリカ
モーリタニア
トーゴ
中央アフリカ
ベナン
マラウイ
ギニアビサウ
スワジランド
エリトリア
コモロ
ナミビア
ボツワナ
マリ
ニジェール
モーリシャス
レソト
アンゴラ
ガーボヴェルデ
サントメ・プリンシペ
赤道ギニア
ブルキナファソ
セーシェル
ソマリア
モザンビーク
ルワンダ
シエラレオネ
ブルンジ
ジブチ
ガンビア
チャド
その他（アフリカ地域）

（オセアニア）
オーストラリア
ニュージーランド
パプアニューギニア
フィジー
パラオ
マーシャル
ミクロネシア
サモア
トンガ
キリバス
ナウル
ソロモン諸島
ツバル
バヌアツ
その他（オセアニア地域）

（北米）
カナダ
米国
その他（北米地域）

（中南米）
メキシコ
グアテマラ
エルサルバドル
ニカラグア
コスタリカ
キューバ
ドミニカ共和国
ブラジル
パラグアイ
ウルグアイ
アルゼンチン
チリ
ボリビア
ペルー
エクアドル
コロンビア
ベネズエラ
ホンジュラス
パナマ
ジャマイカ
トリニダード・トバゴ
バハマ
アンティグア・バーブーダ
バルバドス
ドミニカ国
グレナダ
セントクリストファー・ネーヴィス
セントルシア
セントビンセントおよび
グレナディーン諸島
スリナム
ガイアナ
ベリーズ
ハイチ
その他（中南米地域）

（ヨーロッパ）
アイスランド
フィンランド
スウェーデン
ノルウェー
デンマーク
アイルランド
英国
ベルギー
ルクセンブルク
オランダ
ドイツ
フランス
スペイン
ポルトガル
イタリア
マルタ
ギリシャ
オーストリア
スイス
ポーランド
チェコ
ハンガリー
セルビア
ルーマニア
ブルガリア
アルバニア
ロシア
エストニア
ラトビア
リトアニア
スロバキア
ウクライナ
ウズベキスタン
カザフスタン
ベラルーシ
クロアチア
スロベニア
マケドニア
ボスニア・ヘルツェゴビナ
アンドラ
バチカン
キルギス
アゼルバイジャン
グルジア
タジキスタン
トルクメニスタン
サンマリノ
モナコ
モンテネグロ
リヒテンシュタイン
コソボ共和国
アルメニア
モルドバ
キプロス
その他（ヨーロッパ地域）

（その他）
その他（その他地域）

Ⅲ　その他

「外国人学生受入実績票」及び「国内学生海外派遣実績票」様式ファイルは、ウェブサイト（http://www.niad.ac.jp）に、MS-Excel版を用意していますので、適宜ダウンロードしてください。

外国人学生受入実績票

別紙様式①

【留学生】

（平成○年５月１日現在）

地域	国又は地域	正規留学生					非正規留学生						合計
		学部	大学院			計	学部	大学院			その他	計	
			修士	博士	専門職学位			修士	博士	専門職学位			
アジア													
中近東													
アフリカ													
オセアニア													
北米													
中南米													
ヨーロッパ													
合計													

外国人学生受入実績票

別紙様式②

【正規留学生】　　※　ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる留学生も含む。

学部	H○年度			H○年度			H○年度		
	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率
○○学部			%			%			%
△△学部			%			%			%
□□学部			%			%			%
××学部			%			%			%
			%			%			%
			%			%			%
			%			%			%
			%			%			%
			%			%			%
合計			%			%			%

大学院	H○年度			H○年度			H○年度		
	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率
○○研究科(修士)			%			%			%
〃　(博士)			%			%			%
△△研究科(修士)			%			%			%
〃　(博士)			%			%			%
			%			%			%
			%			%			%
			%			%			%
			%			%			%
			%			%			%
合計			%			%			%

外国人学生受入実績票

別紙様式③

【ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる留学生】

≪学士課程≫

教育プログラム（全学・学部）	交流大学等	協定	国又は地域	受入区分	受入期間	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位
○○ﾀﾞﾌﾞﾙ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（○○学部）	○○大学	○		ＤＤ							
○○ｼﾞｮｲﾝﾄ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（○○学部）	△△大学	○		ＪＤ							
合計											

≪大学院課程≫

教育プログラム（全学・大学院）	交流大学等	協定	国又は地域	受入区分	受入期間	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位
○○ﾀﾞﾌﾞﾙ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（○○研究科(修士)）	○○大学	○		ＤＤ							
○○ｼﾞｮｲﾝﾄ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（△△研究科(博士)）	△△大学	○		ＪＤ							
合計											

【短期留学生・超短期留学生】

≪学士課程≫

教育プログラム（全学・学部）	交流大学等	協定	国又は地域	受入区分	受入期間	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位
○○単位互換プログラム（全学）	○○大学	○		短期	１年						
	△△大学	○		短期	１年						
○○サマー・プログラム（○○学部）	□□大学	○		超短期	６週						
	××大学	○		超短期	４週						
○○語学研修プログラム（全学）	○○大学	×		超短期	１か月						
	△△語学学校	×		超短期	３週						
その他(△△学部)	□□大学	×		超短期	１５日						
合計											

≪大学院課程≫

教育プログラム（全学・大学院）	交流大学等	協定	国又は地域	受入区分	受入期間	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位	H○年度 外国人学生数	H○年度 うち単位
○○単位互換プログラム（全学）	○○大学	○		短期	１年						
	△△大学	○		短期	１学期						
○○単位互換プログラム（△△研究科(修士)）	□□大学	○		短期	１学期						
	××大学	○		短期	１年						
○○技術者養成プログラム（□□研究科(博士)）	○○大学	×		超短期	２か月						
	△△大学	×		超短期	６週						
その他（××センター）	□□大学	×		短期	１学期						
合計											

国内学生海外派遣実績票

別紙様式④

【ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる海外派遣学生】

≪学士課程≫

教育プログラム（全学・学部）	交流大学等	協定	国又は地域	派遣区分	派遣期間	H○年度		H○年度		H○年度	
						派遣学生数	うち単位	派遣学生数	うち単位	派遣学生数	うち単位
○○ﾀﾞﾌﾞﾙ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（○○学部）	○○大学	○		ＤＤ							
○○ｼﾞｮｲﾝﾄ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（○○学部）	△△大学	○		ＪＤ							
合計											

≪大学院課程≫

教育プログラム（全学・大学院）	交流大学等	協定	国又は地域	派遣区分	派遣期間	H○年度		H○年度		H○年度	
						派遣学生数	うち単位	派遣学生数	うち単位	派遣学生数	うち単位
○○ﾀﾞﾌﾞﾙ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（○○研究科(修士)）	○○大学	○		ＤＤ							
○○ｼﾞｮｲﾝﾄ･ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（△△研究科(博士)）	△△大学	○		ＪＤ							
合計											

【短期海外派遣学生・超短期海外派遣学生】

≪学士課程≫

教育プログラム（全学・学部）	交流大学等	協定	国又は地域	派遣区分	派遣期間	H○年度		H○年度		H○年度	
						派遣学生数	うち単位	派遣学生数	うち単位	派遣学生数	うち単位
○○単位互換プログラム（全学）	○○大学	○		短期	１年						
	△△大学	○		短期	１年						
○○サマー・プログラム（○○学部）	□□大学	○		超短期	６週						
	××大学	○		超短期	４週						
○○語学研修プログラム（全学）	○○大学	×		超短期	１か月						
	△△語学学校	×		超短期	３週						
その他(△△学部)	□□大学	×		超短期	１５日						
合計											

≪大学院課程≫

教育プログラム（全学・大学院）	交流大学等	協定	国又は地域	派遣区分	派遣期間	H○年度		H○年度		H○年度	
						派遣学生数	うち単位	派遣学生数	うち単位	派遣学生数	うち単位
○○単位互換プログラム（全学）	○○大学	○		短期	１年						
	△△大学	○		短期	１学期						
○○単位互換プログラム（△△研究科(修士)）	□□大学	○		短期	１学期						
	××大学	○		短期	１年						
○○技術者養成プログラム（□□研究科(博士)）	○○大学	×		超短期	２か月						
	△△大学	×		超短期	６週						
その他（××センター）	□□大学	×		短期	１学期						
合計											

外国人学生受入・国内学生海外派遣実績票

別紙様式⑤

外国人学生受入【全体】

学部	H○年度			H○年度			H○年度			3年平均		
	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率
正規留学生（※）			%			%			%			%
短期留学生・超短期留学生			%			%			%			%
合計			%			%			%			%

大学院	H○年度			H○年度			H○年度			3年平均		
	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率
正規留学生（※）			%			%			%			%
短期留学生・超短期留学生			%			%			%			%
合計			%			%			%			%

全学	H○年度			H○年度			H○年度			3年平均		
	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率	在籍者数	外国人学生数	外国人学生比率
正規留学生（※）			%			%			%			%
短期留学生・超短期留学生			%			%			%			%
合計			%			%			%			%

※　ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる留学生含む。

国内学生海外派遣【全体】

学部	H○年度			H○年度			H○年度			3年平均		
	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率
海外派遣学生（※）			%			%			%			%

大学院	H○年度			H○年度			H○年度			3年平均		
	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率
海外派遣学生（※）			%			%			%			%

全学	H○年度			H○年度			H○年度			3年平均		
	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率	在籍者数	派遣学生数	派遣学生比率
海外派遣学生（※）			%			%			%			%

※　ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる海外派遣学生、
短期海外派遣学生及び超短期海外派遣学生の合計。